

読む人の  
幸せを  
心に願って  
作る

## ひと声かけられて考えた

先日、人間ドックへ行った。病院なので来院している方はほとんどが患者さんである。何となく自分も病気で来ているような気持ちになる。たくさんの検査があつて、待ち時間も長く、いささか時間を持てあましたが、その都度、見るからにベテランの看護師さんがひと声かけてくれた。

「お水持ってきましようか」、「寒くないですか」。ふとした時にタイミングよく、それも私だけでなく来院されている一人ひとりに、それぞれ違った言葉をかけている。検査の準備や医師の手伝いなど忙しく走り回っている合間に、あつちこつちで声をかけている。なぜ、それだけ色々な話が出るのか聞いてみた。

「患者さんも検査に来られている人も、なにか不安を持っていません。少しでも不安な気持ちがあればと思つて…」という返事であつた。仕事として声をかけているのではなく、来院されている人の気持ちになつて、すこしでもほぐれるようにと思つていることが自然と言動に表れていた。

勉強も仕事も自分のために頑張ることは当然だが、看護師さんのように、仕事を通じて周りの人の気持ちを考えた言動が出来ているだろうか、考えさせられた。「仕事を好きになる」、「気持ちを行動に表す」。体の総点検に行ったが、看護師さんから「ひと声かける温かい心」を学んだ人間ドックであつた。

no.521

# 喜びの タネまき 新聞

写真・阿部高嗣 夏の思い出



株式会社ダスキン社長

山村輝治

南半球の地の果て、パタゴニアは、チリとアルゼンチンにまたがる地域。高山や氷河、大平原。日本とはかけ離れた景色が広がる、嵐の大地だ。そこへの遠い旅の話をしよう。

# 「風の言葉 パタゴニア」



絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和む温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一歩二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載最多記録14年目。日本山岳協会会員。著書に「のんびり山に陽はのぼる」(山と溪谷社)、「お江戸超低山さんぼ」(書肆侃侃房)、「森のくらし」(リヨン社)など。

東京を発つて乗り継ぎ、乗り継ぎ、2日間以上かかってチリ南端の港町プンタアレナスに飛行機は降り立った。いざパタゴニアへ。

太陽は地平線の低さにあり、奇妙な形の雲が低く垂れ込める。斜めに強烈な光を浴び、ぼくの影は見たことがないくらい長い。すぐ先はマゼラン海峡で南極大陸。初夏の日本と逆に、厳しい冬を迎えようとしていた。

町は黄昏になると、太陽も雲も消え、南十字星が煌めいた。防寒着を着込んでウインドウショッピングをする人々。楽しそうに語りあう家族の中に子供達の姿も見えた。

町を離れ車でパタゴニア地方へ向かう。約400キロの広大無辺の道程は、ほとんどが未舗装で定規を引いたように真っすぐ続いていた。

宿は青く光る氷河湖畔の森のなかにあった。目前に、巨大な岩塊の山群が艦隊のようにそそり立つ。ラクダの仲間グアナコが、こちらをじつと眺め、日本の真裏に来た感概がした。

「嵐の大地」といわれるパタゴニア

で人に会うことはめつたにない。

旅の途中で、ぼくは地図を頼りに

10軒ほどの小さな集落に向かった。

簡易宿と食堂と分校が、平原の枯

れ草の中にひっそり点在していた。

自生するカラファテは「青い実を

食べるとまたパタゴニアに戻れる」

といわれ、甘酸っぱい味。

口に含んで喜んでいた時に、平

たい帽子に手織のポンチヨ姿の

荒々しいガウチヨを見た。いわば

現地のカウボーイである。声をか

けたが答えは無く、寡黙に馬を駆

って去って行った。孤独な生活を

しながら渡り歩く彼ら。風の言

葉を話すのかも…。



## ジャガイモ2個で4枚分 「かんたんポテトケーキ」

ジャガイモをすって絞って小麦粉と混ぜ、家にある材料を加えて焼くだけで、もっちりとしたお焼きの出来上がり！おやつ、ビールのおつまみや夜食に便利です。ホットプレートを使えば、一気にたくさん出来るので、お子様のお誕生日会にもおすすめ。

◎作り方(直径15cm、4枚分)  
●生地作り  
中くらいのサイズのジャガイモ2個は皮を剥いてすりおろし、キッチンペーパーで包み、軽く絞って水分を取り除く。



ボウルに小麦粉と水を各1カップ入れ、そこへすりおろしたジャガイモを入れて混ぜ合わせ生地を作る。

●具材を入れる  
中くらいサイズの半分のタマネギをスライスしたもの100g、3cm幅に切ったベークン60gを生地に入れて混ぜ合わせ、塩、コショウを少々加えて味を整え、最後にピザ用チーズ50gを加えてさらに混ぜ合わせる。  
別にトッピング用としてチーズ50gを用意しておく。

●焼く  
温めておいたフライパン、またはホットプレートにバター適量を敷き、生地をの



できあがり

せて焼く。片面をこんがり焼いたら、裏返してもう片面を同様にこんがり焼く。その時に残りのチーズをのせ、フタをしてチーズが溶けたら出来上がり。お好みでケチャップをのせる。大人向けには、ブラックペッパーやタバスコをかける美味しく召し上がれます。  
具材や小麦粉がなくても、ジャガイモさえあれば出来ます。その場合は、ジャガイモ1個で1枚分。すりおろして軽く絞って水気を切り、丸く形を整えて、フライパンで油、またはバターを敷いて焼くだけで、もっちりとした食感の超簡単おやつ完成。塩やお醤油のシンブルな味も合います。是非一度お試しを！



できあがり

## おやつ時間 簡単、美味しい楽ラクレシピ

お料理研究家 こいけりえ



見てうれし、見せてうれし、この写真。わたしの出番の1枚を送ってください。



「お馬さんごっこだよ。」  
神奈川県南足柄市 大角好洋



開脚！  
埼玉県毛呂山町 小林延代



恐竜と夏休み！  
名古屋市 吉田康子

家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしております！(詳細は7ページ)

「生花店で専門的な知識と技術を身につけ  
雑貨店やディスプレイの経験が花の仕事に活かされたね」  
小物や花器のアレンジが個性的な古川さやかさん(34歳)を  
京都府木津川市にお訪ねしました。

## 涼しげな花とグリーンで 自分らしく



サンセリヤが赤く熟す前の一枝。  
ふ入りのグリーンを水に浮かべると涼しい。

秋風がたつ季節ですが、まだまだ夏。残暑が  
厳しい地域もあるでしょう。さわやかなグリー  
ンのアレンジを、古川さんをお願いして作っ  
てもらいました。

京都府と奈良県の境、カーナビが奈良県に入  
りますと言ったあたりで横を見ると、斜面の上



に建っている古  
い家。花屋の  
花を眺めなが  
らの「花カフェ」  
である。

花カフェのほ  
かに、古川さ

丸い花器の中にスチールグラス  
をくるりと丸めて緑のラインを  
構成。多肉植物エケベリアと。



んはヴェール・デ・グリという名で、ウエディン  
グブーケなどのフラワーギフトの製作、フラワー  
アレンジメントの教室をしていて、レッスンでは  
300人の生徒さんをもっている。小さな移動  
販売車で、近隣の県や公園へ、ふらっと出かけ  
て教える。フェスティバルで東京まで行くことも  
あるという。

花カフェは、もともと水道局のポンプ小屋で、  
自力で改装した。個性豊かな花のディスプレイ  
に、大きなポンプ。墨色の重量感のある金属の  
ポンプがなかなく古くなって、生花のいきいきし  
た美しさや、ドライフラワーの優しい色をひき  
たてている。

「駅前で、こんなお店あったんや!とただ来る  
より、街から離れてい  
ても、お客さんがわざ  
わざ訪れてくださる隠  
れ家っぽい店がやりた  
かったんです」と目的  
も美意識も明確。

『ヴェール・デ・グリ』と  
は、古川さんのご主人  
が好きな、グレーがか  
ったくすんだ青緑色の  
こと。「彼とは生花店で  
出会ったんです」とい  
うご主人は調理師でも  
ある。だから花カフェ  
なんですとね、と納得。



ドライフラワーのあじさいで作ったリース。  
ブルーのガラスや洋書だと涼感が出ますよ。



### お盆休みに

大阪市 河野元美

お盆休みに愛媛の実家に帰りました。私には21歳と18歳の二人の弟がいます。実家に帰っても、弟達は友達と遊んでばかりで、なかなか家族全員が顔を合わせることはありません。お墓参りには全員揃って、と思いながら朝早く弟達を起こし、久しぶりに家族5人が揃い、祖父母のお墓へ行くことが出来ました。普段は何もしない弟達も進んで掃除をしていました。帰り際、真ん中の弟が、「じいちゃん、また来るけんね。オレも頑張ろわい」と、ひと言。

まだまだ子供と思っていた弟達も、今では大工さんと船乗りを目指している学生です。私も祖父母の墓前に「三人みんなで頑張ってるけんね」と手を合わせて帰りました。明日から。また仕事頑張るぞー！

――ようよし、じいちゃんも、ほっとしてるけん。



### ぼくもする

兵庫県太子町 黒田紀子

主人が、いつものように洗面所で入れ歯を洗っている時、そこへ2歳9カ月の孫が来ました。「じいじい、何しよん？」

「入れ歯あらいよんや」

入れ歯をゴシゴシ磨いていた主人。手の甲で隠れて、孫からは入れ歯が見えません。

「ぼくもする」

主人が歯ブラシを手渡すと、孫は自分の手のひらを歯ブラシでゴシゴシ。

「変なことできんなあ」主人は笑いながら、私に話してくれました。

小さくても、しっかり見ているのに、びっくりするやら、おもしろいやら。孫との、しばしのふれあいは楽しいものです。

――ぼくも、ぼくも「てまきくはなて行くけんね。



### メモ手紙

東京都町田市 入江智恵子

犬の散歩仲間で、自分の犬をいつも「プス犬」と言う人がいます。彼女の足元に隠れるようにして、時々垂れ下がった前髪の間から、上目遣いで私達を見る表情がなんとも個性的な、カワイイ犬です。

ある日のこと、彼女に連絡する用件が出来て、これ幸いと、犬の気持ちになってメモ手紙を添えてポストに入れました。

「ボクのこと、ママはいつもプス犬って言うけど、ボク、ちっとも気にしないよ！だってボクはママが大好きなんだモン！」

すぐに彼女から電話が来ました。

「あなたってラブレター上手ネ。胸にキュンときちゃった…」。

それ以来80歳の彼女とは、とても親しくなりました。これが犬の取り持つ縁でしょうか。

――ぼくの気持ちになってくれて、ありがとう。



### とっさのこと

茨城県茨城町 西連寺元子

高校生の頃の話です。私の実家は商売をしていました。その日は、品物の仕入れを頼まれて、1万円を預かると、学校帰りに市内に出るバスに乗りました。バスを降りるときに、小銭がないことに気付き、仕方がなく回数券を買おうとすると、運転手さんが回数券はきれていると言います。いつもは定期券なので、お金がなくても平気だったけれど、市内に出るバスでは定期券は使えません。ワンマンバスの降り口のドアの所で、降りるに降りられず、もたもた。

すると、サラリーマンの男性が整理券を私の手からとって、料金箱へお金と一緒に入れて、さっさと降りていってしまいました。とっさのこと、お礼も言えませんでした。

帰って家族に話すと、今度はあんたが困った人に返せばいいよと言われました。あれから40年。少しは私も困っている人を助けられたでしょうか…。

――思い出す度に「ありがとう」



### 退職の日

静岡県三島市 岡村よしみ

21年間勤めていた会社を、昨年の9月で辞めました。

退職の日、送別会を終えて自宅に戻ると、ベッドの上に6本のバラの花束とメッセージカードが置いてあり、「仕事お疲れ様でした」の言葉が添えられていました。それは息子からの贈り物でした。

息子はいつもは東京ですが、たまたま1ヶ月ほど家に帰っていました。普段は口数も少なく、何を考えているんだろうと、いつも主人と頭を悩ませていましたが、この日ばかりは何かしてやろうと考えてくれたのだと思います。息子の優しさに涙が止まりませんでした。

最高の退職の日でした。

――「ごとうツッキリは、うれしいもんです」



### 魔法の枕

熊本県天草市 原田睦美

去年、お兄ちゃんになった5歳の孫は、まだ時々おねしょをします。

先日、我が家に泊まりにきた時のこと。

「この枕はアメリカから買ってきた魔法の枕なんだよ。これをして寝ると、おしっこ、しかぶらないよ」

と抱き枕をもたせて、布団に寝かせると「花さかじいさん」の話が聞かせました。

話が終わる頃に、

「ばあちゃん…、おしっこ出たよ。魔法の枕してたのに…」

「えっ!？」

孫は魔法が効くか試したのか、きつと私の手なうそが孫に見抜かれたのでしょうか。

――うん、なかなか、かっこい…。

### 「暑いけどくっつくぞ!」



熊本県玉名市 畑野晴幸

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先  
〒163-0223  
東京都新宿区西新宿2丁目6番1号  
新宿住友ビル23階(私書箱47号)

ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室  
電話 03(5909)6703  
e-mail:koho4@mail.duskin.co.jp

No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます  
<http://www.duskin.co.jp/torikumi/tanemaki/index.html>

DUSKIN×Pen — 2012 —  
エコシャツデザイン大賞

ダスキンと雑誌「PEN」とタイアップしたエコTシャツデザイン大賞の一般投票を8月1日(水)～9月30日(日)まで行っています。  
詳しい内容はWEBで。

●4-5ページの「花カフェ」の連絡先  
〒619-0213 京都府木津川市市坂高座12-10  
「ヴェール・デ・グリ」 古川さやか  
電話&FAX:0774-71-3505

自分が改まることだ

人間とは実に我がままなものである。自分勝手な「我」を押し通そうとするものである。

自分で自分が、思うようにならず、いばっていた自分自身がはじめにならず、一晩中泣き明かしてしまった。

「死ぬ気になって――他をせめず、他をうらまず、自分の我がままな思い上がった気持ちを欲望を、いやしい気持ちを捨てることだ」と。

鈴木清一

## 愛の輪からのコラム

誰もが心地よい暮らしをつつ。

### 第5回 「パラリンピック」を知っていますか？

オリンピックのあとに開催される“パラリンピック”をご存じですか？ 身体に障害のある全ての人を対象にした世界最高峰のスポーツ競技大会です。特に車いすバスケットボールは第1回大会からの競技種目で歴史も長く、国際的に活躍するプロの日本人選手もいます。最近では、障害のある人となない人が共に楽しめるスポーツとして注目され始めているようです。



このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。  
☎06-6821-5270 HP (<http://www.ainowa.jp/>)  
愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障害のある若者に、海外での研修支援を行っています。

🌱 **エコな取り組み ~東京都渋谷区~**  
**雨が降ったらみんなで使おう!**

一日に何十万人も通行する渋谷駅周辺では、急な雨で買った傘がたくさん捨てられます。そこで生まれたのが**シブカサ**。まだ使える傘をボランティアが集めて渋谷の協力店に置き、自由に使える仕組みを作りました。これまで1万本以上の**シブカサ**がリユースされているんですって。

また返し  
ましょうね

かーおっかー

●ダスキンでもさまざまなエコ活動を実践中。webで「ダスキンのエコ」を検索してね。

**ダスキンのお客様係募集中!!**

詳しくはwebで

お客様係

検索

※お仕事内容や募集要項をご覧ください。



携帯からも  
アクセス

**お楽しみクイズ**

雨の日に渋谷で  
借りられるものは?

シ ブ



正解者の中から30名様に  
**「くらしキレイBOX2012」を  
プレゼント!**

下記の要領でご応募ください。

- ハガキに  
①クイズの答え ②郵便番号 ③住所  
④氏名 ⑤年齢 ⑥性別 ⑦電話番号  
⑧ご利用のダスキン店名  
⑨この新聞内で好きなコーナーをご記入の上、  
下記あて先までお送りください。
  - クイズ専用のあて先 ※郵便番号(住所不要)とあて先を  
〒163-0265 ご記入の上お送りください。  
(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞no.521」  
クイズプレゼント係
  - 締め切り 平成24年10月5日(金)当日消印有効
  - ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。
  - 当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。  
(平成24年10月下旬お届け予定)
  - 応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703  
※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。
- 今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。  
no.519のクイズの答えは「おさがり(ボックス)」でした。



便利な「使い方が이드」と  
お得な「クーポン」つき!  
・油污れ用洗剤・ガラス用洗剤  
・カビ取り剤・天然ゴム手袋  
・オタメジックワックスボンジ  
※デザイン等変更になる  
場合があります。

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室  
〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)  
TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

**0120-100100** www.duskin.jp